

後援会便り

神石高原町父木野 2953-1

発行 神石高原町議会議員

木野山孝志 後援会

平成17年7月10日 NO.3

ホームページ

<http://www7a.biglobe.ne.jp/~t-kinoyama/>



一般質問

六月二十一日は、一般質問が行なわれ、九名の議員が、質問に立ちました。

平成十七年六月二十一日に招集された六月神石高原町定例会は、二十四日に終了しました。

今回の定例会(第四回)では、平成一七年度一般会計・各特別会計補正予算、神石高原町過疎地域自立促進計画について等十四案件が提出され審議を行いました。

十七年度六月補正予算は、一般会計で三億三千円、特別会計で一億三千三百万円増額され、それぞれ百十億三千円、六十一億三百円となりました。

補正予算

一般会計 三億三千万円の増額

また、議員より県立神石二和病院の存続に向けた意見書など四案件が提出され、すべて原案どおり可決されました。

この度提案された平成

定例会召集される

グリーンセンター陽光

豊松にオープン

このたび、平成十五年から二カ年かけて建設を

産建委員会の初の活動として、町内現地調査を六月九日実施しました。調査箇所は、町営住宅、住宅建設予定地（豊松）町道、農事法人、公社、堆肥センター等で建設、産業各課長の説明を受けながら、それぞれの代表の皆さんと懇談し、現状の課題、将来の見通し等把握に勤めました。

すすめてきた一般廃棄物最終処分場「グリーンセンター陽光」が、神石高原町有木（旧豊松村）に完成し、本年四月より本格稼動しました。

家庭から出された不燃物（ガラス製品、陶器類）と RDF 施設から出る残渣を埋め立て処分します。廃棄物の飛散や臭気の拡散を防ぐ事の出来るクローズドシステムとなっています。神石高原町が直接管理します。

農業後継者 農地の荒廃 農業法人継続性 適正規模 農産物の特産化（差別化＝安全、地域性） 道路の整備（本町はまだ未整備） 住宅団地の総合開発

六月二十八日「陽光の里文化ホール」にて、落成記念式典が、関係者多数出席のもと、挙行されました。

神石高原町観光協会が発足

この度、旧4町村の観光協会が合併し、新たに神石高原町観光協会が発足しました。平成17年6月29日(水)帝釈峠スコラ高原にて、設立総会が行なわれました。事務所は神石高原町相度(スコラ高原)に置かれ、初代会長に宮野元治氏が就任されました。旧町村の観光協会は、それぞれ支部として観光事業を実施します。本部は支部を統括し、観光に関する宣伝紹介を中心として行なうことになると思います。

現在、会員は206名。

産業建設常任委員会で町内現地調査

定住促進対策事業として実施

高速インターネット時代を向かえ、町内でADSL未設備のNTT四交換所（油木、牧、豊松、新坂）に工事着手するため、NTT西日本に補助

金三十三百万円を交付します。（〇六年度も同額補助予定）完成すると町内七十%の地域がADS-Lにてインターネットが可能となります。

森林災害緊急対策事業

台風森林倒木対策として、千四百三十一万円が計上されました。

減債基金積立金

一億七千万円の積立て

五月三十一日にて確定した平成十六年度決算見込み額が、一般会計で九億七千万円の黒字となり、減債基金に一億七千万円積み立てられました。

近田・花済地区

一千一百五十三万円

近田・花済地区簡易水道の水源ダム水が、異常渴水により異臭が発生したために、対策費として一千二百五十三万円が計上されました。

干ばつ緊急対策事業

農産物干ばつ被害緊急対策用に購入した灌水用ポンプ及び付属設備に対して補助金が認められま

ふるさとふれあい事業補助金 一部減額

17,447千円 他の事業課へ移す

地域間の特色ある事業として計画された事業で一般事業としての性質を持つものを地域審議会の了解を得て本庁の各所管課に移したもののは以下の通りです。

- * 介護予防ささえあい事業 油木高齢者交通確保
- * 敬老会開催経費（油木、神石、三和、豊松）
- * 保育所児童交通確保（タクシー）油木、神石
- * 油木生涯学習 公民館長報酬、青少年研修事業
- * 豊松山村グランドゴルフ場倉庫

した。（十万円以上、五月二十日から八月三十一日まで。二十九三十%補助）

町福祉事務所設置に向け

〇六年度から福祉事務所を本町に設置する方向で四月一日に県と推進協議会を設置した。県への職員研修のため補正で人件費を計上。

福祉事務所は生活保護の審査・決定、母子家庭、寡婦への相談、児童扶養手当の認定・至急など五つの事務を行ないます。

介護福祉関連

介護保険制度見直しに伴うシステム変更のため、委託料千八百万円を計上。

第三セクター

本町が資本金の過半数を保有している第三セクターの経営状況について報告がありました。厳しい経済情勢の中、経営努力をされた結果帝釈ダム発電所工事のための水量不足で観光客激減の影響を受けた(有)帝釈峡スコラを除き、各社とも売上げ、収入とも上昇し決算は良好ですが、町からの委託業務のあり方補助金の額、また、それぞの公社とも営業範囲が旧町村単位である事など多くの問題を抱えています。

今後の経営形態については、農業、観光の方をふくめ総合的に、研究・検討して行かねばならないと考えます。

こんな事も決まりました

- * 神石高原町過疎地域自立促進計画・後期分
- * 辺地にかかる公共施設総合整備・後期分
(平成17年~21年まで)
- * 工事契約の締結
(下谷、米山地区用水施設工事、新城地区飲料水供給施設工事)
- * 切田野球場管理条例 使用料減免の項付加
- * 非常勤消防団員退職報奨金一部改正 引上げ
- * 非核平和宣言の提案を承認

商工観光施設管理補助	神石堆肥センター 輸送 一三二万円
畜産施設運営補助	仁吉川ビレッジ(豊松)改修 一百五十万円
体育施設管理運営補助	自然公園管理(仙養、スコラ等)百四十一万円
野球場グランド黒土補修	野球場グランド黒土補修 一百二十万円
観光施設整備補助	ホテル修繕費 合併浄化槽等 百二十四万円

お知らせ

中国五県一部・二部軟式野球 広島県決勝大会
が、切田グランドにて開催されます。応援をよろしく
日時：平成17年8月6~7日(6日8時開会式)
場所：神石高原町；切田野球場



平成17年5月29日

やまなみ劇場
一周年記念公演
開催されました

一般質問に対する

町長答弁

に

財政改革について 主体的に取組む

行政改革の具体的な取り組みについては、合併後半年経つたが町民からいろいろな意見を拝聴している。合併してメリットがあるのかと不平をよく聞くが、メリットを可能にするためには財源の確保が必要で行政改革を取り上げたのであり行政改革なくしては町の進展、発展はなく地域の発展も無い。この事はある程度皆様に理解していただいている。

具体的に、一本立てではなく町長が本部長として内部で行財政改革の大綱として策定し、それを民間で充分審議してい

商工・観光について 観光は重要な位置づけ

この度三和支所の産業建設課を本所に移行したのも抜本的なものではなく、基本的には、行財政改革大綱の中で示して行きたい。

市等との交流について具体的な施策は、ありますか。

ただき、民間の意見を充分に拝聴してからよりよい大綱に仕上げて行きました。審議委員数は、一〇名予定しており現在内定を順序を持って行なっています。

内部の推進本部は、本

来は事務的なことなので助役が推進本部長と言つ

案もあるが、それでは町長の意見はたたき台が出来からでないと踏み込

めないので、スタート時点から町長が本部長となり自分の意見を大綱に充分に反映して行きたいと思つてい。

この度三和支所の産業建設課を本所に移行したのも抜本的なものではなく、神石高原町全体の自然を生かし、それを福山との交流し備後都市圏のふるさと山里創りにもと考えている。高原町

が宿るふるさと造りを都市との交流の中で形成していくべきだとも思つていい。

都市との交流について

は、環境の違う都市との交流も含めて、行政が落ち着いてから姉妹縁組の

えるかですが、担当課を企画課にもつてきたのは、観光の重要性を考えただ産業課の担当といつ事ではなくも一つ踏み込んで将来の企画性をもたせるために、町の産業振興の中でも観光を重要な位置づけにしたいとの思いからです。

町全体を観光資源と捉えるという事については、私も全くそのとおりだと

思つてゐる。ある意味では観光開発を行なうので

だ財源が無いのにいろいろなもの寄せ集めて計

画をしたということもあり、最初から見直しあり

つ一つあてはめて考へるので財源の見通しを一

と書き意味で見直しであり、最初から見直しあり

きではないと理解して欲しい。私も、合併協での約束事は充分に尊重しない。

約束事は充分に尊重しなくてはならない事は重々承知しています。

ふれあい資金についても予算編成の段階では財源の関係で揺れ動いたが最終的には、うまく行つたと思つ。

基本的には合併協約束事は破らないので承知して頂きたい。

相手をやうするか協議して決定して行きたい。

建設計画は合併協の法定協議会で、二年におよぶ協議を積み重ねているので、そう簡単に見直すとは言えない。た